膵胆嚢摘切除術　クリニカルパス

ステップ名称		入院当日	手術当日 午前中	手術当日 手術後	第3病日	第4病日	第5病日	第6病日	第7病日	第8病日	第9病日	第6病日	第7病日	第8病日
		1日目	2日目		3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目
合併症	自覚症状			苦痛・創部痛のコントロールができる 血尿の増強がない 血尿がない	苦痛・創部痛のコントロールができる 血尿の増強がない 血尿がない	苦痛・創部痛のコントロールができる 血尿の増強がない 血尿がない	苦痛・創部痛のコントロールができる 血尿の増強がない 血尿がない	苦痛・創部痛のコントロールができる 血尿の増強がない 血尿がない	苦痛・創部痛のコントロールができる 血尿の増強がない 血尿がない	血尿の増強がない	血尿の増強がない 血尿がない			
生活動作	活動			ADLの拡大に努める	ADLの拡大に努める	ADLの拡大に努める								
	排便・排尿			膀胱留置カテーテルの管理方法を理解している	膀胱留置カテーテルの管理方法を理解している	膀胱留置カテーテルの管理方法を理解している	膀胱留置カテーテルの管理方法を理解している	膀胱留置カテーテルの管理方法を理解している	膀胱留置カテーテル抜去後排尿障害を起こさない	膀胱留置カテーテル抜去後排尿障害を起こさない	膀胱留置カテーテル抜去後排尿障害を起こさない	膀胱留置カテーテル抜去後排尿障害を起こさない	膀胱留置カテーテル抜去後排尿障害を起こさない	膀胱留置カテーテル抜去後排尿障害を起こさない
知識・理解	術前		術前準備が整っている 不安の内容を表出できる 手術に対する準備ができる											
	術後						尿路感染を起こさない	尿路感染を起こさない 合併症なく過ごすことができる	尿路感染を起こさない 合併症なく過ごすことができる	尿路感染を起こさない 合併症なく過ごすことができる	尿路感染を起こさない 合併症なく過ごすことができる			
	退院時							退院後の留意点が理解できる 退院に対して不安がない	退院後の留意点が理解できる 退院に対して不安がない	退院後の留意点が理解できる 退院に対して不安がない 日常生活の注意点が実行できる	退院後の留意点が理解できる 退院に対して不安がない 日常生活の注意点が実行できる			
	入院時	入院環境に慣れ、手術の受け入れができる												
	検査中		手術がスムーズに行われる											
	検査後			異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる	異常の早期発見と対処ができる 問題なく退院できる			
	第n病日													
観察項目		残尿感 排尿障害 血尿（血尿スケール） 尿量	排尿障害 残尿感 血尿（血尿スケール） 尿量	排尿障害 残尿感 尿量 血尿（血尿スケール）	疼痛（下腹部） 血尿（血尿スケール） 尿量	疼痛（下腹部） 血尿（血尿スケール） 尿量	疼痛（下腹部） 血尿（血尿スケール） 尿量	疼痛（下腹部） 血尿（血尿スケール） 尿量	疼痛（下腹部） 血尿（血尿スケール） 尿量	疼痛（下腹部） 血尿（血尿スケール） 尿量	疼痛（下腹部） 血尿（血尿スケール） 尿量	疼痛（下腹部） 血尿（血尿スケール） 尿量	疼痛（下腹部） 血尿（血尿スケール） 尿量	疼痛（下腹部） 血尿（血尿スケール） 尿量
検査結果														
食事		21時～絶飲食	朝から絶飲食	朝から絶飲食	朝から食事開始　希望食または治療食	希望食	希望食	希望食	希望食	希望食	希望食	希望食	希望食	希望食
安静度		フリー	病棟内フリー	ベット上安静	回診後歩行可	病棟フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー
排泄				Ba血尿の有無確認（管内スケール2以上　カルバソクロムスルホン酸+トラネキサム酸混合注射）	Ba血尿の有無確認（管内スケール2以上　カルバソクロムスルホン酸+トラネキサム酸混合注射）	Ba血尿の有無確認（管内スケール2以上　カルバソクロムスルホン酸+トラネキサム酸混合注射）	Ba血尿の有無確認（管内スケール2以上　カルバソクロムスルホン酸+トラネキサム酸混合注射）Ba抜去した際は蓄尿の有無をDr.に確認	Ba血尿の有無確認（管内スケール2以上　カルバソクロムスルホン酸+トラネキサム酸混合注射）Ba抜去した際は蓄尿の有無をDr.に確認	Ba血尿の有無確認（管内スケール2以上　カルバソクロムスルホン酸+トラネキサム酸混合注射）Ba抜去した際は蓄尿の有無をDr.に確認					
清潔		入浴 爪切り 更衣 環境整備	更衣 環境整備	更衣 環境整備	回診後、シャワー可 更衣 環境整備	シャワー 更衣 環境整備	シャワー 更衣 環境整備	シャワー 更衣 環境整備	シャワー 更衣 環境整備	シャワー 更衣 環境整備	シャワー 更衣 環境整備	シャワー 更衣 環境整備	シャワー 更衣 環境整備	シャワー 更衣 環境整備
検査					血算、生化学									
治療処置			弾性ストッキング着用	酸素3Lマスク モニター フロートロン 自動監視血圧計	弾性ストッキングoff		回診時膀胱留置カテーテル抜去血尿有無Drに確認。必要時蓄尿準備	回診時膀胱留置カテーテル抜去血尿有無Drに確認。必要時蓄尿準備	回診時膀胱留置カテーテル抜去血尿有無Drに確認。必要時蓄尿準備 バルーン抜去2日経過し問題なければ退院可能		バルーン抜去2日経過し問題なければ退院可能	回診時膀胱留置カテーテル抜去血尿有無Drに確認。必要時蓄尿準備	バルーン抜去2日経過し問題なければ退院可能	バルーン抜去2日経過し問題なければ退院可能
薬剤		21時センノシド2T 必要時リスミー1錠 常用薬継続	必要時常用薬服用 6時術前点滴開始 ①ソルアセトF500ml ②ソルアセトF500ml 手術室持参生食2ボート100ml＋セファゾリンNa1g　1ｷｯﾄ	持続点滴 ①ソルアセトD500ml（80ml/h） ②アセトキープ３0500ml（80ml/h） ③ソルアセトD500ml（80ml/h） セファゾリンNa1g 1キット膀注	持続点滴 ①ソルアセトD500ml（80ml/h） セファゾリンNa1g 1キット					フロモックス3錠×3　内服開始				
説明・指導		麻酔科医より説明 入院時オリエンテーション 入院治療計画書 麻酔、手術内容説明 手術伝票確認 手術必要物品説明 承諾書回収 蓄尿方法の説明			Ba留置中の注意点				退院指導		退院時説明 退院証明書 退院時服薬指導 再来予約票 10時退院	退院指導		退院時説明 退院証明書 退院時服薬指導 再来予約票 10時退院
観察		排尿障害 残尿感 血尿 尿量 睡眠	排尿障害 残尿感 血尿 尿量 睡眠		下腹部痛 Ba挿入部違和感 血尿の有無 外尿道口部の出血 Baの閉塞の有無 呼吸器合併症の有無 尿量 睡眠	下腹部痛 Ba挿入部違和感 血尿の有無 外尿道口部の出血 Baの閉塞の有無 呼吸器合併症の有無 尿量 睡眠	下腹部痛 Ba挿入部違和感 血尿の有無 外尿道口部の出血 Baの閉塞の有無 呼吸器合併症の有無 尿量 睡眠	下腹部痛 Ba挿入部違和感 血尿の有無 外尿道口部の出血 Baの閉塞の有無 呼吸器合併症の有無 尿量 睡眠	下腹部痛 Ba挿入部違和感 血尿の有無 外尿道口部の出血 Baの閉塞の有無 呼吸器合併症の有無 尿量 睡眠	下腹部痛 Ba挿入部違和感 血尿の有無 外尿道口部の出血 Baの閉塞の有無 呼吸器合併症の有無 尿量 睡眠	下腹部痛 Ba挿入部違和感 血尿の有無 外尿道口部の出血 Baの閉塞の有無 呼吸器合併症の有無 尿量 睡眠	下腹部痛 Ba挿入部違和感 血尿の有無 外尿道口部の出血 Baの閉塞の有無 呼吸器合併症の有無 尿量 睡眠	下腹部痛 Ba挿入部違和感 血尿の有無 外尿道口部の出血 Baの閉塞の有無 呼吸器合併症の有無 尿量 睡眠	下腹部痛 Ba挿入部違和感 血尿の有無 外尿道口部の出血 Baの閉塞の有無 呼吸器合併症の有無 尿量 睡眠
糖尿病														
書類														
手術			オペ後ベッドに酸素マスク　フラットオムツを乗せて下さい											
リハビリ														
カルテ														
転倒・転落														
自己管理														
条件付き指示		不眠時		疼痛時 ①アデフロニック座薬50mg ②生食100ml＋ソセゴン15＋アタラックスP25	疼痛時 ①アデフロニック座薬50mg ②生食100ml＋ソセゴン15＋アタラックスP25	疼痛時 ①アデフロニック座薬50mg ②カロナール（200）4Ｔ　6時間あけて再度服用可	疼痛時 ①アデフロニック座薬50mg ②カロナール（200）4Ｔ　6時間あけて再度服用可	疼痛時 ①アデフロニック座薬50mg ②カロナール（200）4Ｔ　6時間あけて再度服用可	疼痛時 ①アデフロニック座薬50mg ②カロナール（200）4Ｔ　6時間あけて再度服用可	疼痛時 ①アデフロニック座薬50mg ②カロナール（200）4Ｔ　6時間あけて再度服用可	疼痛時 ①アデフロニック座薬50mg ②カロナール（200）4Ｔ　6時間あけて再度服用可	疼痛時 ①アデフロニック座薬50mg ②カロナール（200）4Ｔ　6時間あけて再度服用可	疼痛時 ①アデフロニック座薬50mg ②カロナール（200）4Ｔ　6時間あけて再度服用可	疼痛時 ①アデフロニック座薬50mg ②カロナール（200）4Ｔ　6時間あけて再度服用可